

2024年度 第4回研修会報告

日 時：2024 年 11 月 3 日(日・祝) 八日市駅 9：35 集合～道の駅永源寺 15：30 解散

場 所：東近江市君ヶ畑町・宮坂峠周辺

参加者：小西、平田、高橋、関澤、森上、橋木(報告)

前日の大雨が嘘のような快晴のもと、八日市駅から 3 台の車に分乗して出発。永源寺を過ぎて山の奥に
どんどん進んで君ヶ畑の登山者駐車場に着いたのは 10 時半過ぎでした。すぐ横の全国木地師の祖神とさ
れる大皇器地祖神社から宮坂峠に向かって、植物観察しながら登りました。

”



大皇器地祖神社 鳥居
スギの巨木群がそびえる



スギの巨木が何本も立ち並ぶ



幹にムササビが往来した
跡のささくれが見られる



アオミズ イラクサ科



クロヤツシロラン 実
ラン科



スズカアザミ キク科



カヤラン ラン科



ヤマミズ イラクサ科



ミヤマカタバミ実 カタバミ科



ミズヒキ実 タデ科
そう果の先にカギ形に曲がった
花柱が残り、動物などにくっつく



ヒメチドメ ウコギ科
葉の直径 0.4~1 cm 基部は
広く切れ込む



オオバチドメ ウコギ科
葉の直径 1.5~3 cm 基部の
切れ込みは浅い



トウゲシバ
ヒカゲノカズラ科



ハシカグサ アカネ科



タニギキョウ キキョウ科



ショウジョウバカマ
シュロソウ科



シハイスミレ スミレ科

峠までの山道は昔の生活道路とのことですが、道幅は狭く急坂で往来の困難さが感じられました。斜面の谷側にはモミ、アカガシ、ウラジロガシ、アカシデ、ブナなどの大木が並んでいました。道しるべとして伐らずに残されていたのではないかとのことです。



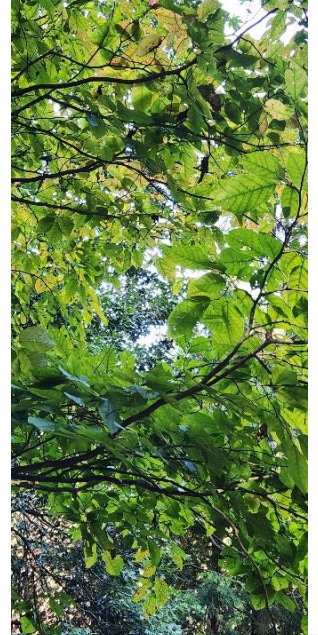
モミ マツ科



ウラジロガシ ブナ科



ブナ ブナ科



シラキ トウダイグサ科



アカガシ ブナ科



アカシデ カバノキ科



いろいろなキノコにも出会いました。ちょっと変わったキノコ3種のほかにもたくさん見られました。



クチベニタケ クチベニタケ科



チシオタケ キシメジ科

カサや軸に傷をつけると血紅色の液がにじみ出る。



ヒトクチタケ サルノコシカケ科
幹の穴はヒトクチタケが地面に
落ちた跡



いろいろなキノコ



峠に出ると涼しい風が吹き通り、登りで少し汗ばんだ体が一気に冷えていきました。急いで昼食を済ませて付近を観察しながら、枯れた赤松の大きなところで引き返しました。



宮坂峠



ヒナウチワカエデ ムクロジ科



リスが作った
アカマツのエビフライ



センブリ リンドウ科



ヒカゲノカズラ 大群落
ヒカゲノカズラ科



ヒカゲノカズラ 胞子穂



ヒカゲノカズラ 這い伸びる茎

帰りは急坂を一気に下山、全員無事に神社まで戻りました。

その後、君ヶ畑町の木地師のふるさと交流館を見学し、12世帯15名の集落で施設を継承、維持していくことの大変さなどお話を伺いました。

交流館の後ろには、木地師の祖と呼ばれた惟喬親王が植えたと言われるカツラの大木が川に張り出すように枝を伸ばしていました。記念写真を撮った後、道の駅に向かい、帰路につきました。



カツラ大木 カツラ科
樹齢 1000 年以上？

